

かいけん そ し けっせん こくてつとうそう ばくはつ ろうそ は かいこうげき ふんさい あ べ だとう
改憲阻止決戦と国鉄闘争の爆発で労組破壊攻撃を粉碎し安倍打倒へ

じょう むいんせい ど かいたい そ し めいかい こ てっかい
乗 務員制度解体阻止・1047名解雇撤回を

がつついたち こくてつとうそうぜんこくうんどう ぜんこくしゅうかい にん けっしゅう だいせいこう
7月1日の国鉄闘争全国運動の全国集会は1500人の結集で大成功を勝ち
とった。感動と新たな出会い、そして次の闘いへの意欲と団結が最高の形で結合
した。その新たな闘いはすでに日本のみならず韓国、中国、そしてアメリカ、
ドイツ、全世界へと新たな熱気と波動を広げている。今こそ勝負の時だ。トラ
ンプ、安倍、小池を筆頭とする新自由主義、帝国主義者どもの「われ亡き後に洪水
よ来たれ」とばかりの戦争と抑圧、貧困と差別の政治の満展開によって崩壊する
社会の現実に、プロレタリアート人民の歴史的な総反乱を組織しよう。

みつ だんけつ
三つのスローガンで団結

こくてつしゅうかい だいいち にん だんけつ ちから こくてつとうそうぜんこくうん
7・1国鉄集会は第一に、1500人の団結した力によって国鉄闘争全国運
動が改憲阻止決戦に突入したことを示した。

こくてつとうそうぜんこくうんどう じく かいきゅうてきろうどううんどう ろうどうくみあい せんごし
国鉄闘争全国運動を軸に階級的労働運動、労働組合をよみがえらせ、戦後史
を塗り替えよう。国鉄1047名解雇撤回の闘争団のほとんどが政治和解をさせ
られた2010年の「4・9反革命」を打ち破り、2011年3・11東日本大震災
・福島第一原発事故をのりこえる、新たな労働者階級人民の時代が来た。安倍
の「働き方改革」=労働法制大改悪を切り口とした改憲攻撃への踏み込みを絶対
に許さず、逆に国鉄決戦と戦争反対・改憲阻止の労働者階級人民の闘いが一
つとなって、18年後半を山場とする戦後最大の改憲阻止決戦に突入しよう。

しゅうかい かか みつ じょうかいけん こっかいはつぎ ゆる
集会で掲げられた三つのスローガンは、「9条改憲・国会発議を許すな！

かいけん そ し せんとう こくてつとうそう はた こくてつ めいかい こてつかい ろうどう い いんかいとうそう
 改憲阻止の先頭に国鉄闘争の旗を」「国鉄 1047 名解雇撤回！ 労働委員会闘争
 しょうり しょう むいんきん むせい どかいあく そ し だいさん ぶんかつ みんえい か こうげきふんさい
 に勝利しよう」「乗務員勤務制度改悪阻止！ 第三の分割・民営化攻撃粉碎！」
 ちからづよ せんげん
 と力強く宣言している。

しゅうかい こころ ひと かんこく てつどうろうそ ちほうほんぶ
 集会ではこのスローガンと心を一つにして、韓国・鉄道労組ソウル地方本部
 ほんぶ ちよう にほん たたか じんみん そんざい たたか こころ しんらい けいい
 のパクソンス本部長が日本の闘う人民の存在と闘いに心からの信頼と敬意を
 あらわ きょうどう たたか た せんげん つきじ とよす いてんぜったい そし つきじ
 表し、共同の闘いに立つことを宣言し、築地から「豊洲移転絶対阻止、築地
 まも とよす しじょうししようきんし じよきやくぎ むづ そしやう つきじ ねん れきし
 を守れ」と「豊洲市場使用禁止・除却義務付け訴訟」に築地 80 年の歴史をか
 たたか かいし げんこくだん さんか かれ ぜんさん かしや わ かんせい ねつき
 けて闘いを開始した原告団が参加、彼らを全参加者が割れんばかりの歓声と熱気
 むか
 で迎えた。

こくてつろうどうしゃ せんとう た
 国鉄労働者が先頭に立ち

こくてつしゅうかい だいに こくてつろうどうしゃ せんとう た かいけん そし だいうんどう じつげん
 7・1 国鉄集会は第二に、国鉄労働者が先頭に立って改憲阻止の大運動を実現
 あら じだい はじ つ
 する新たな時代の始まりを告げた。

にほんきょうさんとう りつけんみんしゅう じみん こうめい ほうだい せんそうせいじ ゆる
 日本共産党や立憲民主党などが自民・公明のやりたい放題の戦争政治を許し、
 そっせんすいしん いま にほん くさ は せいじ こっかい いじょうゆる じぶん
 率先推進する今の日本の腐り果てた政治、国会はもうこれ以上許さない。自分
 せいかつ けんり じぶん たたか まも せんそう かいけん からだ は そ
 たちの生活と権利は自分たちの闘いで守る。戦争と改憲だけは体を張っても阻
 し ねんあんぼ とうそう ねんあんぼ おきなわとうそう いらい せんとうてきでんとう たましい こんぼん
 止するといふ、60 年安保闘争、70 年安保・沖縄闘争以来の戦闘的伝統と魂を根本
 からよみがえらせていく。

たたか かん あべ についで みずか えんめい そうりよく
 その闘いの環こそ、安倍・日帝ブルジョアジーが自らの延命を掛け総力を
 すす だい こくてつぶんかつ みんえい か じょう むいんきん むせい どかいたいこうげき たたか
 あげて進める第 3 の国鉄分割・民営化一乗務員勤務制度解体攻撃との闘いだ。
 どうろう ちば せんとう どうろうそうれんごう ぜんこく こくてつろうどうしゃ しょくば たいけつ
 動労千葉を先頭とする動労総連合、全国の国鉄労働者は職場からの対決一スト
 ふく そうりよく たたか けつだん どうろう ちば ことし がつ らいねん がつ
 ライキを含む総力の闘いを決断した。動労千葉は今年 8 月と、来年 3 月ダイヤ

改定において、国鉄分割・民営化との闘い以来の決意でストライキを含む総反撃に立つと宣言した。

加えて 7・1 集会がうちだした 1047 名解雇撤回闘争の不屈の前進は、強行された労働法制改悪を職場で粉碎していく決定的な武器である。

国鉄決戦を基軸に職場生産点から資本との攻防を日々推進しつつ、職場から改憲阻止決戦を、政治闘争の組織化を全面的にかちとる。国鉄労働者が 1 千万労働者階級人民の先頭に立って改憲阻止決戦を形成し、爆発させる。ここに「改憲・戦争阻止！大行進」の真骨頂がある。

国鉄とともにすでに教労、自治体の全国の仲間が戦列の拡大に日々奮闘している。ここに確信をもち、全力で進もう。

改憲阻止決戦がさらに国鉄闘争の大前進を促す

7・1 国鉄集会は第三に、そうした改憲阻止決戦の推進が国鉄決戦のかつてない壮大な勝利の展望を切り開くことを示した。

安倍は、9 月臨時国会での改憲発議と来年の改憲国民投票の実施を狙っている。「9 条の 2」を設け自衛隊を明記し、「64 条の 2」を設け緊急事態条項とする。そのことによって戦後憲法は「戦争憲法」へと 180 度ひっくり返る。この大攻撃に対する労働者階級の怒りの総決起は不可避である。

すでに安倍は、働き方改革で労働法制解体に踏み込んだ。これから全産業・全職場での激突が開始される。すでに JR 東日本は、安倍の意を受けて JR 東労組を崩壊させ、「労働組合のない社会」に乗り出している。動労千葉が今年 8 月と来年 3 月に構えるストライキは、これとの正面激突となる。

改憲阻止決戦と、国鉄闘争とりわけ乗務員制度解体との決戦は、相互に高め合
 う。それは、全国いたるところの国鉄＝JR 職場に動労総連合の旗を押し立て
 る組織拡大の展望を切り開く。そこには6月29日に結成集会を闘いotta
 「動労総連合1047名協議会と共に闘う会」の同志たち、その先頭に立つ
 旧国労田町の労働者の姿もある。「動労、国労」の枠を越えた全国鉄労働者の
 総団結と総結集、動労総連合の全国的拡大と確立のなかに唯一の勝利の道があ
 る。

自己の変革かけて闘おう

7・1国鉄集会の勝利は、国鉄決戦と改憲阻止決戦の一体的で壮大な勝利
 の道が、党と階級の中の先進的戦闘的仲間たちの奮闘、「命を掛け」「体を張
 り、人生をかけた」「これまでの自分自身のあり方の変革をかけた」大闘争、情勢
 と自分自身の生き方、闘い方の根本的転換をかけた闘いによって切り開かれて
 いることを示した。学生戦線は全国で新たな胎動と闘いを開始した。自らと階
 級の力に確信をもち、団結を固め、大胆に大胆に前進しよう。